

地域の労働者と青年の結集をめざす

# 横三労連新聞 第132号



2017年9月11日発行

docomo

au/ソフトバンク

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: [yv2t-tnk@asahi-net.or.jp](mailto:yv2t-tnk@asahi-net.or.jp)

238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



**業績評価制度は馴染まない！**

**横須賀市立うわまち病院労働組合**

うわまち病院と市民病院の指定管理を受けている地域医療振興協会は、来年以降業績評価制度を導入しようとしています。業務成績などを自己と評価者の評価により、定期昇給と一時金を査定するものです。

医療・介護はチームケアが基本であり、業績評価制度は馴染みません。すでに導入している国立病院では、10年以上経過した今も、「とんでもない」との声がやまない状況です。

一時金については、1年に0.06カ月分を減らし、それをAAやAの評価の人に上乘せします。つまり、標準査定の人にも、現在より減らされる内容です。仲間の賃金に影響を及ぼす査定を強いられる評価者のストレス・負担も、計り知れません。医労連の組合がある職場で、業績評価制度で職場の環境がよくなったところは、1つありません。

私たちは今回も、自治労と情報を共有しあい、反対運動に取り組んでゆきます。

## 神奈川労連定期大会に参加！

9/10(日)、建設プラザで行われた神奈川労連第33回定期大会に、横三労連から4人の代議員が参加しました。午後の討論では、幹事会で確認した「1年の活動」を、田中事務局長が発言しました。

冒頭挨拶では、大会が7年ぶりに増勢で迎えられた事が報告され、参加者に確信を与えました。来賓挨拶で飯田よしき鎌倉市長候補(下写真左から2人目)は、「NHK時代、メーデーのニュースを担当した。普通、連合のニュー

スを先に紹介するが、その時誰がどうみても、全労連の方が労働者に寄り添った姿勢だったので、全労連を先に紹介し、松平さんから『あれはよかった』と言われた。」と発言していました。提起された運動方針では、今年は18春闘の日程まで提示され、最賃引き上げでは「今すぐ1000円、1500円を実現しよう」となりました。

討論のまとめでは、全体として地域からの発言が少なかった中で、横三労連が地道に未加盟労組訪問を続けていることが評価され、また、改憲阻止の運動が弱い中で、横須賀基地の状況を報告した事にも触れられていました。



## 国連会議&世界大会報告会が行われました

9/9(土)、産業交流プラザで行われた報告会には、25名が参加しました。横須賀で世界大会報告会が行われたのは、20年ぶりの事です。長崎大会の報告は、土建の大井委員長と、新婦人の萩原さんが行いました。

また、国連会議の報告に立った原水協の長野事務局長は、会議が安全保障の論議を克服して人道的立場から核兵器禁止条約にたどりついた経過を詳しく説明され、「そんなに安全なら、全ての国に核兵器を持たせればいいじゃないか」と切り返された核保有国が、反論不能に陥った事や、核の傘のもとにあるオランダが、「4万筆以上の署名には従わなければならない」という法律に縛られて参加し、多くの国で、同様の法律をつくる運動が始まっている事などを紹介しました。9月20~26日に行われる国際Peace Waveでは、横須賀で連日の署名が計画され、横三労連は23日の4時から、Yデッキでの署名に責任を持ちます。